

業 務 実 績

項 目		年 度				
		R6	R5	R4	R3	R2
総 人 口 (人)	中 間 市 及 び 遠 賀 町 に お け る 年 度 末 の 総 人 口	57,685	58,231	58,688	59,260	59,960
計 画 給 水 人 口 (人)	最新の事業計画における給水人口	82,400	82,400	82,400	82,400	82,400
現 在 給 水 人 口 (人)	年 度 末 に お け る 給 水 人 口	57,652	58,209	58,670	59,243	59,941
普 及 率 (%)	$\frac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{総 人 口}} \times 100$	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
総 給 水 戸 数 (戸)	年 度 末 に お け る 給 水 戸 数	29,223	29,232	29,068	28,989	29,008
配 水 量 (㎡)	年 間 総 量	6,022,832	5,993,207	6,075,697	6,161,535	6,299,209
有 収 水 量 (㎡)	年 間 有 収 水 量	5,287,449	5,287,811	5,380,035	5,465,287	5,600,003
有 収 水 量 率 (%)	$\frac{\text{有 収 水 量}}{\text{配 水 量}} \times 100$	87.7	88.2	88.5	88.7	88.9
配 水 管 延 長 (m)	年 度 末 現 在	327,422	326,227	324,809	324,342	323,502
職 員 数 (人)	年 度 末 現 在	25	24	26	26	23

経 営 分 析

項 目		年 度					説 明
		R6	R5	R4	R3	R2	
負 荷 率 (%)	$\frac{\text{一 日 平 均 配 水 量}}{\text{一 日 最 大 配 水 量}} \times 100$	84.73	88.37	82.36	84.43	77.95	この比率が高ければ、年間を通じて施設が平均的に稼動して、効率が良いことを示している。
施 設 利 用 率 (%)	$\frac{\text{一 日 平 均 配 水 量}}{\text{一 日 配 水 能 力}} \times 100$	50.62	50.23	51.06	51.78	52.94	一日の平均稼動率を表す。
最 大 稼 働 率 (%)	$\frac{\text{一 日 最 大 配 水 量}}{\text{一 日 配 水 能 力}} \times 100$	59.74	56.84	62.00	61.33	67.91	1日に最高に稼動した場合の数値で100%に近いほど良いとされている。
配 水 管 使 用 効 率 (1 m 当 り ㎡)	$\frac{\text{年 間 総 配 水 量}}{\text{導 送 配 水 管 延 長}}$	18.39	18.37	18.71	19.00	19.47	配水管1m当たりの年間配水量を表し、比率が高いほど効率が良い。
固 定 資 産 使 用 効 率 (1 万 円 当 り ㎡)	$\frac{\text{年 間 総 配 水 量}}{\text{有 形 固 定 資 産}}$	5.83	5.99	6.37	6.60	6.83	固定資産1万円当たりの年間配水量を表し、比率が高いほど効率が良い。
供 給 単 価 (1 ㎡ 当 り 円)	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	149.19	124.69	128.13	148.38	149.12	1㎡当たりの販売単価
給 水 原 価 (1 ㎡ 当 り 円)	$\frac{\text{経 常 費 用}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	162.63	160.89	153.21	143.25	146.25	1㎡を給水するための費用
1 ㎡ 当 り 収 益 (円)	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	158.28	134.80	137.90	159.38	158.59	1㎡当たりの収益
職 員 1 人 当 り 給 水 人 口 (人)	$\frac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{損 益 勘 定 所 属 職 員 数}}$	2,621	2,910	2,667	2,693	3,155	職員1人当たりの給水人口
職 員 1 人 当 り 給 水 量 (㎡)	$\frac{\text{年 間 総 有 収 水 量}}{\text{損 益 勘 定 所 属 職 員 数}}$	240,339	264,391	244,547	248,422	294,737	職員1人当たりの給水量
職 員 1 人 当 り 営 業 収 益 (千円)	$\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{損 益 勘 定 所 属 職 員 数}}$	36,559	34,008	32,241	38,077	45,027	職員1人当たりの営業収益
給水収益に対する 職員給与費の割合 (%)	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	15.88	18.37	17.45	15.43	15.94	給水収益に対する職員給与費の割合

財 務 分 析

項 目		年 度					説 明
		R6	R5	R4	R3	R2	
営 業 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{営 業 費 用}} \times 100$	91.7	79.2	85.2	104.9	102.3	営業活動の能率を示す指標で、100%以上が理想
経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{営 業 収 益} + \text{営 業 外 収 益}}{\text{営 業 費 用} + \text{営 業 外 費 用}} \times 100$	97.7	100.2	104.5	110.3	107.8	経常的な収益と費用の関係を示す指標で、100%以上が理想
総 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	97.7	100.2	104.5	110.2	107.7	総収益と総費用を対比したもので大きいほど良く、100%を超えるかどうかの指標で、100%以下で良好
自 己 資 本 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}}{\text{負 債} + \text{資 本 合 計}} \times 100$	54.0	55.1	58.0	57.8	57.6	総資本に占める自己資本の割合を示し、比率が高いほど経営は安定している。
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率 (%)	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{固 定 負 債}} \times 100$	92.3	91.1	90.1	89.2	88.1	固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行なえるかどうかの指標で、100%以下で良好
流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	243.4	246.4	319.5	317.8	363.6	短期における支払能力を示す指標で、200%以上で良好
当 座 比 率 (酸性試験比率) (%)	$\frac{\text{現 金 預 金} + (\text{未 収 金} - \text{貸 倒 引 当 金})}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	241.6	245.0	318.0	316.4	361.0	短期における支払能力を示す指標で、100%以上で良好